

各 位

会 社 名 株式会社インテリジェント ウェイブ
代表者の役職名 代表取締役 社長執行役員
山 本 祥 之
(JASDAQ・コード番号 4847)

問 い 合 わ せ 先 取締役 常務執行役員 経営管理本部長
石 井 郁 夫

TEL 03-6222-7015

韓国 Saltlux 社との事業提携に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 10 日、当社は、世界有数のセマンティック検索技術をもつ Saltlux 社（本社韓国ソウル市）と事業提携を締結したのでお知らせします。

記

1. 提携の内容

Saltlux 社は、セマンティック技術の主要なベンダーとして、韓国の政府機関や各種民間企業をはじめ欧米、アジアの各地域において 400 社を超える企業にセマンティック検索ソリューションを提供しています。

当社は、提携によって Saltlux 社のソリューションを日本国内で販売展開するほか、当社の技術やノウハウとの組み合わせによる新しい製品やサービスを開発し、順次投入することによって国内におけるセマンティック技術市場規模の拡大を進める予定です。

2. Saltlux 社の概要

名 称	Saltlux Inc.
所 在 地	韓国 ソウル市
代 表 者	Lee, Kyung-il
資 本 金	1,200百万ウォン
主な事業内容	セマンティック検索及び情報マイニングソリューションの開発、販売

3. 業績への影響

本件による平成 23 年 6 月期連結業績へ与える影響は軽微です。

以上

インテリジェントウェイブと Saltlux、セマンティック分野で提携

～インテリジェントウェイブの金融業界で培ったシステム・ノウハウと、
Saltlux のセマンティック技術を組み合わせ、
企業内の大量の文書データ・メールを自動解析・判断するソリューションの提供へ～

株式会社インテリジェント ウェイブ
Saltlux Inc.
2011 年 2 月 21 日 東 京、ソウル

金融ソリューション、情報セキュリティの特化技術を有する、株式会社インテリジェント ウェイブ(本社:東京都中央区、代表取締役 社長執行役員:山本 祥之、以下、IWI)及び、セマンティック検索・情報マイニング専門企業の Saltlux Inc. (本社:韓国ソウル市、代表: Lee, Kyung-il、以下、Saltlux)は、2011 年 2 月 10 日付で、セマンティック分野における戦略的事業提携を締結したことを発表いたします。

今回の事業提携を通じて、両社は、Saltlux の有するセマンティック・ソリューションやマイニングエンジンに対する日本国内の販売促進活動を強化する他、技術協力においても連携し、Saltlux のセマンティック検索・情報マイニング技



術と IWI の金融業界システム・ノウハウを組み合わせた共同ソリューションを開発し、提供してまいります。

セマンティック技術は、コンピュータ・サイエンスにおける長年の主要研究テーマの一つであり、コンピュータ自らが情報の意味や関連性を理解し、その理解に基づいて様々な処理を実行する技術を指します。この技術は、近年、ナレッジ管理、情報の統合、セマンティック・ウェブなど様々な領域で、情報・知識活用の為の手段として注目されている画期的な技術であり、市場規模は、2015 年には全世界で 5,020 億ドルにも達することが見込まれています^{*1}。しかしながら、2007 年以降、欧米を中心として、徐々に導入事例が増加傾向にある中、日本では未だ本格的な導入事例が殆ど無い状況です。

Saltlux は、創立以来 30 年間に渡る研究を重ねた末、セマンティック技術を実際のソリューションとして、本格的な実装に成功した、この分野におけるアジア No.1、世界有数の主要ベンダーです。主な顧客としては、韓国国防部・統一部・海軍・特許庁等の殆どの政府行政機関や、サムソンや LG 電子など韓国の有力企業の大多数に採用され、欧米諸国も含め、多分野で 400 超の導入実績を有します。インターロップ東京ベンチャー部門のグランプリ受賞、大型ソリューション企業とのパートナーシップなど、これまでも海外事業を活発に行ってきた Saltlux は今後、更に、欧米アジア市場への攻略に注力する計画です。

IWIは、今回の事業提携により、日本におけるセマンティック・ソリューションの本格導入を目指します。まず、セマンティック技術を用いて、グローバルに展開している大企業のカルテル対策や、特許紛争など国際訴訟における e ディスカバリ^{*2} 分野のソリューションを提供してまいります。そして、それに続く適用分野として、セマンティック・ウェブ検索サービスによる知識・情報の発見と収集支援や、金融業界向けの内部監査やマネーロンダリング検知、コールセンタ等での会話解析に基づく顧客向けコンシェルジュ・サービスなど、企業内に蓄積されたまま活用されていない、大量非定形情報の活用に向けて、多くのソリューション展開を想定しています。

今回の提携について、Saltlux の Lee 代表は、以下のように述べています。
「日本市場へ進出して 3 年弱の間に、今回のような事業提携が締結できたことを嬉しく思っています。世界有数のセマンティック技術専門企業として、IWI との連携により、日本での当社技術の積極展開に非常に期待しています。」

また、IWI 代表取締役 社長執行役員 の山本 祥之は次のように述べています。

「Saltlux との事業提携により、セマンティック分野への参入に至ったことを大変嬉しく思います。当面は、e ディスカバリなど国際的大手企業の法務コンプライアンス分野での活用を計画していますが、この技術は、今後、他の金融・流通・製造業界など幅広い分野においても、強力な武器になると考えています。」

《株式会社インテリジェント ウェーブ 会社概要》

インテリジェントウェーブ(JASDAQ:4847)は、金融ソリューション事業、セキュリティソリューション事業を行っています。金融ソリューション事業では、自社開発パッケージ「NET+1」によるクレジットカードネットワークシステムの構築を行っており、大手クレジットカード会社で多くのシェアを占めています。また、クレジットカード不正検知システム「ACE Plus」や証券会社向け市況情報配信システムなどの開発、販売を行なっています。セキュリティソリューション事業では、多様な業種の企業向けに情報セキュリティ対策システム「CWAT」や「EUCSecure」の開発、販売を行なっています。インテリジェントウェーブは、アンチクライム(犯罪防止)をキーワードにソフトウェア開発に取り組み、金融業界で培った技術はセキュリティ技術に応用され、カード不正検知システムや情報セキュリティ対策システムに活かされています。

本社: 日本東京都、支社: 米国(ニューヨーク)、韓国(ソウル)

《Saltlux Inc. 会社概要》

Saltlux Inc. は、1979 年創立以来、30 年間蓄積された高度専門技術を基に、業界を問わず、ヨーロッパ、北米、アジアの多数の企業にセマンティック検索及びマイニングソリューションを提供しています。また、国際セマンティック研究所 STI2^{※3}(Semantic Technology Institute International)に、アジア企業として初めて登録されるなど、セマンティック分野の先導的企業としての地位を築き、今日、知識サービスプロバイダとしては世界トップ10の地位にあります。導入実績は、韓国内外を合わせて、400 社超。セマンティック・ウェブで代表される知識の構造化と共有分野において世界が注目する専門企業として、韓国政府や、韓国内外の民間企業からの表彰実績を多数有します。

本社・専門研究所: 韓国ソウル市、支社: 日本(東京)、ベトナム(ハノイ)

※1 米コンサルティング会社 Project10X の調査による。

※2 e ディスカバリ: 電子証拠開示。民事訴訟の当事者に、関連した電子メールや図面など、電子的に保管された情報の開示を求める、米国民事訴訟における証拠開示(discovery)の制度。情報を提示できない場合、隠ぺいと見なされ、罰金等の制裁措置が講じられる。近年、米国に進出している日系企業や、米国企業と取引がある企業が、民事訴訟に巻き込まれ、e ディスカバリ対応に追われるケースが増えている。

※3 STI2: セマンティック技術における、共通ビジョンを有する関連学術界、産業界、政府機関によって設立された国際組織。2007 年にオーストリアで発足し、後に発足した、ESSI (European Semantic Systems Initiative)、European FP6 Project Knowledge Web、DERI International 等の団体の先駆的組織として知られている。

《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社インテリジェント ウェーブ

事業推進本部 青木/今井

E-Mail: semantic@iwi.co.jp 電話: 03-6222-7070

URL: <http://www.iwi.co.jp/>

Saltlux Inc.

Saltlux 日本支社 氏家支社長

E-Mail: mujike@saltlux.com 電話: 03-5251-8721

URL: <http://www.saltlux.com/jp/>

《商標・著作権について》

記載の会社名および商品名、ウェブサイトの URL などは、本リリース発表時点のものです。

掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

